

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	コード	名称	会計	コード	名称
330	330	きらめき工房管理運営費	01	01	一般会計
基本施策	5	障がいのある人の自立した生活を支える	03	03	民生費
			01	01	社会福祉費
			05	05	障害者福祉施設費
担当部課名	健康福祉部 高齢障害課		細目	101	知的障害者授産施設管理運営費
作成者氏名	水谷 久	連絡先	細々目	01	きらめき工房管理運営費
		45-9040			

事業の計画・内容

設置目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)			
	知的障害者	一般就労が心身的な課題により、就労できない在宅で生活されている障害者の方に、日中の活動の場を提供することで住み慣れた地域での生活が継続できること授産作業に取り組むことで、工賃収入を得ることができる。			
本年度事業内容	1. 知的障害者通所授産施設利用者支援及び施設利用に係る事務 ①紙袋製作作業(下請け作業) ②水道キャップ組立作業(下請け作業) ③タッパー箱詰め作業及びシール貼り ④パン製造販売(自主作品) ⑤陶芸品製造販売(自主作品販売) ⑥さをり織り制作販売(自主作品販売) ⑦健康管理 ⑧防災訓練 ⑨その他施設運営事務 2. 知的障害者のデイサービス事業利用者支援及び施設運営に係る事務 ①排泄介助 ②食事等生活面の介助 ③授産作業支援 ④自主作品製作支援 ⑤健康管理 ⑥防災訓練 ⑦その他施設運営事務 3. 障害児者の短期入所事業利用者支援及び施設利用に係る事務 ①知的障害者及び障害児のショートステイ受入事業 ①排泄介助 ②食事等生活面の介助 ③授産作業支援 ④その他施設運営事務 4. 知的障害者地域生活援助事業(グループホームのバックアップ支援)に係る世話人及び利用者の相談支援				
開始年度	平成 年度	終了年度	平成 年度	根拠法令・要綱等	知的障害者福祉法・障害者自立支援法

投入資源

		H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員	正規職員 (人)	1.5	1.5	1.5
	人件費合計(A)	10,800	10,800	10,800
②支出内訳(千円)	事業費(B)	39,479	46,731	46,731
	委託料	16,879	22,997	22,997
	賃金(報酬)	14,011	14,649	14,649
	光熱水費	2,999	3,249	3,249
	その他	5,590	5,836	5,836
合計(A+B)		50,279	57,531	57,531
③財源内訳(千円)	特定財源			
	国県支出金			
	受益者負担			
	その他特財			
一般財源		50,279	57,531	57,531
上記①～③に関する特記事項 ・嘱託職員については、7名を生活及び作業支援に配置しているが、予算については細々目01きらめき工房管理運営費にて支出し、利用者支援にあたっている。また、施設運営における全般事務を行っている。				

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
きらめき授産利用者(延べ人数)	人	4,390	4,610	4,840			
きらめき分場利用者(延べ人数)	人	2,020	2,121	2,227			
デイサービス利用者(延べ人数)	人	1,240	1,302	1,367			
ショートステイ利用者(延べ人数)	人	107	112	118			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
総利用者数(1年間の利用数)	常時定員は満たしているが、心身の状態の変化により毎日活動に参加できない人もある。次年度の目標値は、各事業とも5%増を考えている。	人	7,757 目標 ()	8,145	8,552
			目標 ()		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

施設利用者は、常時定員を満たしている状態であり、今後、在宅障害者及び養護学校等を卒業する生徒の自立と積極的な社会参加ができる地域づくりを進めるためにも、地域生活支援及び就労支援を目的とした施設整備が求められる。

評価	必要性	4	障害施設の運営については、社会福祉法人等への委託運営を含め、民営化の方向で検討されている。	総合評価 A
	有効性	3		
	達成度	3		
	効率性	3		